テ第一義的ニ重要ナ役割ヲ演ジテヰル。日本ニ於テハ全農家ノ二割（三八三六〇〇〇戸）ガ一ヘクタール（約一町二十五歩）以下ノ土地ヲ耕ス零細力ナ貧農經營デアル。コレラノ經營ノスベテガ最モ封建的ナ條件ノ下ニ地主カラ土地ヲ借リルコトヲ余儀ナクサレテヰル。コノ際、最近五十年間（即チ丁度全連ナ資本主義的發展ノ期間）ニ地主ノ土地ノ面積ハ減少シナカツタバカリカ、反對ニ著シク増大シタ（即チ全耕作面積ニ對シテ三六%カラ四六%ヘ増大シタ。コノ半世紀ノ間ニ封建的小作制度、半農奴制的搾取ハ農民ノ新タ層ニ擴マツタバカリデナク一層重壓的ナ形態ヲトツタ。トイフノハ、最近數十年間ニ於ケル小作料ノ系統的ナ引上ヲ指シテヰルノデアル。即チ一八八六年ノ小作料ノ率ヲ一〇〇トスルナラバ、一九〇九―一三年ニハ一一三トナリ、一九一七―二一年ハ一一七ニ達シタ。

概シテ自分デハ農業生産ニタヅサハラナイ日本ノ地主ハ小作農ノ總收穫ノ五割カラ六割ヲ奪ツテヰル。然シ日本農民ハソノ肩ニ單ニ地主ノ東

財團法人協調會大阪支所